

自分たちで
やってみよう！
友達といると
楽しいな！



- 基本的な生活習慣が身に付き、身の回りのことは、自分でできるようになる。
- 全身のバランスを取る機能が発達し、体の動きが巧みになる。
- 友達に関心をもち、関わり合う姿が見られるようになり、気の合った友達と好きな遊びを見つけて遊ぶようになる。
- 仲間とのつながりが強くなる中で、けんかも増えてくる。その一方で、きまりの大切さに気づき、守ろうとするようになる。
- 感情が豊かになり、身近な人の気持ちを察し、少しずつ自分の気持ちを抑えられたり、我慢ができるようになってくる。
- 自然など身近な環境に積極的に関わり、さまざまなものの特性を知り、それらとの関わり方や遊び方を体得していく。
- 想像力が豊かになり、目的をもって行動し、つくったり、絵をかいたり、試したりするようになるが、自分の行動やその結果を予測して不安になるなどの葛藤も経験する。
- 見たこと聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねる。
- 友達と遊ぶ中で、イメージを膨らませ互いの思いや考えを伝え、なりきって遊ぶようになる。

ねらい
● 養護
● 教育

- 一人ひとりの子どもの
- 身の回りのことを自分
- いろいろな活動や遊
- 身近な環境に興味を
- 人の話を聞いたり、自
- 経験したことからイ

思いや欲求を十分に受け止め、生命の保持と情緒の安定を図る。
でできることに喜びをもちながら、保育者や友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
びに興味をもち、意欲的に取り組みながら、人とのつながりを深めていく。
もち、自分から関わり、それらの面白さ、不思議さ、美しさに気づき感性や感覚を豊かにする。
分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
メージを広げ、気の合う友達と一緒にごっこ遊びを楽しむ。

内 容

■ 環境構成 ● 援助

健康

- なぜするのか 知ってるよ！
- 生活の流れが分かり、健康で安全な生活を付き、自分でしようとする。
 - 片足跳びやスキップなどのいろいろな動き、時には体をコントロールし全身を使って積

送るために必要な約束や習慣が身に
を経験したり、運動遊具を使いなが
極的に遊ぶ。

人間関係

- 友達と一緒にあ・そ・ぼ
- 友達と共通の目的やイメージが生まれ、工
 - 保育者や友達との安定した関係の中で、自
 - 友達と生活する中で、きまりの大切さに気

夫したり協力したりしながら遊ぶ。
分の思いを相手に伝え、相手の思っ
付き守ろうとする。また、共同のもの

言葉

- 思いを巡らすって楽しいな！
- 身の回りの出来事に関する話に興味をも
 - 問に思ったことを尋ねる。
 - 絵本や物語などに親しみながら、イメージ

ち、見たこと聞いたことを話したり、疑
を共有して話をしたり、言葉遊びを楽

環境

- 面白そう！やってみよう！
- 身近な動植物に関心や親しみをもって世話
 - 自然や身近な事物・事象に触れ、その様子
 - 身近にある用具などに関心をもち、それら

をする。
や気候の変化に気づき不思議に思っ
うとする。
の使い方を知り、使ったり試したりし
形などに興味、関心をもち、数えたり

表現

- イメージを膨らませて表現しよう！
- 友達と一緒に音楽を聴いたり、歌ったり、体
 - イメージをもってつくったり、絵をかいたり
 - 身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて

なりきって遊ぼう！
を動かしたり楽器を鳴らしたりする。
さまざまな方法で表現することを繰り返
遊ぶ楽しさを味わう。

- ものの場所や生活習慣の手順をマークや写真などで分かりやすく知らせ、自らの回りのことができるよう環境を整える。
- ●さまざまな運動遊具を準備し、子どもが参加できるよう誘いかけ、全身を使って体を動かす楽しさを味わえるようにする。
- 毎日の着替えや排泄などを通して「自分の体は自分だけのものであり、大切にすること」を繰り返し伝えていく。
- クラスや当番活動、グループなどの友達を意識できるよう、名前や写真カードを掲示するなど工夫する。
- いろいろな友達とつながり、遊びを楽しめるよう集団遊びの機会をもつ。
- トラブルが起きた時は、互いの気持ちを受け止め、きまりや約束を守る大切さに気づかせていく。
- 見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分の言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりできるようにする。
- さまざまな言葉に興味をもてるよう、絵本や物語などに触れる場所や機会を多く取り入れる。
- 身近な動植物を見たり、触ったり、世話をしたりできる環境を整備しておく。
- つくったり試したり、工夫したりしながら発展していけるようにじっくり遊べる環境をつくり、用具などはさまざまな用途のものを準備しておく。
- 用具などの使い方を丁寧に知らせ、見本を見せるなど正しく安全に使えるようにする。
- 保育者自身が自然の変化に関心をもち、季節ごとの自然現象は機会を逃さず、保育に取り入れていく。また、子どもの発見や驚きを受け止め、共感する。
- 生活や遊びの中で色、数、量、形などに触れる機会をつくっていく。
- 子どもたちがさまざまな素材に触れたり、自分のイメージしたものをつくったり、やってみたと思った時に、いつでも始められるよう素材や用具などを豊富に用意しておく。
- 子どもたちがイメージした遊びを大切に、発展していくようにする。
- 一人ひとりの要求や思いを出せる機会をつくる。
- 体験したことや絵本など想像の世界で、ごっこ遊びや集団遊びを取り入れ、イメージを膨らませ、友達と遊ぶことを楽しめるようにする。

家庭との連携
地域との関わり

懇談や行事などの機会を通じて保護者とともに子どもの成長を喜び、保護者同士で情報
友達との関わりが増え楽しく遊べるようになるが、思い通りにいかないことが増えトラブル
子育てなどに関する相談を受けた際は、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基
さまざまな人との関わりを通して社会性を育み、人に対する信頼感や相手を思いやる気持
散歩に出かけたり身近な公共施設を利用したりする中で、自分たちの住む地域に親しみを

交換や情報共有できる場を設け、保護者同士がつながるきっかけをつくる。①④
が生じやすい時期でもあることを保護者に伝え、共有する。②
盤に保護者一人ひとりの思いを尊重する。②③
ちをもつ。(あ)(い)
感じたり、自分たちの生活がさまざまな人々に支えられていることを知る。(う)(え)(お)

※数字①～④は全体的な計画の「家庭との連携」を具体的に表したものです。
※ひらがな(あ)～(お)は全体的な計画の「地域との関わり」を具体的に表したものです。

子どもとSDGs【4歳児】



「自分たちでできること」を知っていく



植物の生長を見守る中で、太陽や風、水などの自然のエネルギーに気付くことができます。「暑い日に水をまく」「ツル植物を利用してカーテンを作る」などいろいろな自然の力を感じ、自分たちでできることをやってみることで、冷房の使いすぎなど、エネルギー消費の削減や地球温暖化防止につながることを知り、自分たちも節電の役に立っていることを実感することができます。



身近な野菜の生長に興味をもち収穫を喜ぶ



夏野菜や冬野菜など季節に応じていろいろな野菜を育てています。野菜を育てる体験を実際にするすることで、つくることの大変さを感じたり、大切にしようとしたり、収穫の喜びや食べ物への感謝の気持ちが自然に芽生えてきます。



「自分は大切な存在」であることを実感する



毎月誕生会をして一人ひとりのお祝いをしています。誕生会では、「生まれてきてくれてありがとう」「大きくなったね」「あなたのことが大好きだよ」とお祝いの気持ちを伝えています。「命の尊さ」に触れ、「自分は大切な存在である」と感じることは、自分だけでなく周りの人も大切にしようとする思いにつながります。



自分たちで育てた野菜を給食に使用することで「育てたものをおいしくいただく」という食育にもつながります。

